

たね

2023年春号

わたしたちの
いま・むかし

よつとのお茶でも飲みながら

地元のご近所さんと話していると、ぼろっと出てくる昔の話。当時は当たり前だけど、ぼくにとってはとても新鮮で、ついつい、いろいろと聞きたくなってしまふ。今回は仲良くしている70代のおじちゃんに、お茶をしながら聞いた四方山話をどうぞ。

堀上駿

一網打尽

小学生のころはテレビもなかったという話から、普段どんなことをしていたのか気になった。学校から帰るとよく畑の手伝いをしていたそう。まだ道も舗装されず、家には一輪車も無かったので、二宮金次郎みたいに収穫したものを背負って運んだんだとか。

手伝いのはかに遊ぶといえば、もっぱら外遊び。山に行ったり、川で泳いだり。中でも川での魚獲りは特に印象に残っていると話してくれた。「川の兩岸にクルミの木がたくさんあってね。クルミの葉っぱには毒があるんだよ。だから葉っぱを手でこすったり、重ねて石で叩いたりして樹液を出すわけ。それで川の中にその樹液を流す。そうすると、魚が麻痺してぼかぼか浮いてくるんだよ。夏の雨が少ない渇水期しかできないんだけど。これが楽しくてね」

獲った魚はもちろん食べたそう。人間が食べてもなんともなかったらしい...！以前、テレビで観たアマゾンの部族も同じ方法をやっていたのを思い出した。四賀ってアマゾン？

60年くらい前は交通の便も悪くて、今ほど気軽に松本へ行けるものではなかったそう。四賀では養蚕などの家畜を飼って生計をたてていたころ、松本ではすでにサラリーマンで働きに出ている人がたくさんいた。だから四賀から松本に行くのは一大事だったんだとか。

MATSUMOTO

「親戚が松本にいたから、年に2回くらい行ったんだよね。明科までバスで行って、当時は電車じゃなくて、汽車に乗って松本に行くんだよ。松本駅にチンチン電車があって、駅前から浅間温泉まで通ってて。電車だ！これはすげーって思ったり。ラーメン食べて、こんなに美味しいものどうやって作るんだ？って思ったりね。もう当時は外国へ行ったような気分だったよ」

東京に行く感覚じゃなくて、外国なんだ！ほかにもはじめて海を見たときや、はじめてバナナを食べたときのことを鮮明に覚えていて、なんだか羨ましくなった。ぼくがはじめて椎茸がどうやってなっているか見たときの衝撃と一緒にかな...

松本市四賀地区のフリーペーパー「たね」

2023年4月1日発行

発行人：相原愛 デザイン協力：相原優
協力：四賀地区地域づくり協議会

ご依頼・お問い合わせはこちら

hanahirakuki@gmail.com
(たね編集部)

ご意見・ご感想もお待ちしています！



四賀地区を知る情報サイト
「ハレホレ四賀」

つながる
みつげる
宝もの

次の世代へ伝えたい ― 戦時中の日誌から見えてくるもの ―

四賀地区・赤怒田にお住まいの関口秀徳さん（85才）。
東京の公立学校校長を定年退職された後に、田舎暮らしをした
いごと、移住されました。

東京在住中は、東京都と埼玉県の板碑（※）の調査研究に携わっ
ていた関口さん。

その経験から、同じ石造物史料である馬頭観音碑が目にとま
ります。そして、戦場に連れて行かれた馬「軍馬」の慰霊碑や
記念碑もあるのではと考え、独自に調査を始めました。

それらは、のちに「軍馬関係文書資料 軍馬碑調査余録」（平成
17年8月15日初版発行）、「動物を戦争で死なせないために 軍
馬碑の調査」〔長野県中信・南信地域〕（平成17年発行）として
まとめられることになりました。

その調査の過程で出会ったのが、旧・長野県東筑摩郡中川村
（以降、省略し旧・中川村とする）の「役場日誌」。

関口さんは、日誌を読み続けるうちに、軍馬のことだけではな
く戦時中の村の様子を知ることが必要だと考えました。

● 「役場日誌」と「学校日誌」 ― 当時の村や学校の様子 ―

敗戦直後にアメリカ軍の処罰を恐れ、多くの軍事関係の文書
等が焼却処分された中、役場日誌は軍事に関する「直接的な文
書」ではないということで残されました。↓

を入れ松脂を集める作業には、高齢者や女性、子供も動員され、
全国的に製造されました。

当時、旧・錦部村、旧・中川村、旧・会田村、旧・五常村の
それぞれに松根油製造工場があり、そこへ集めた原料を持って
行きました。（旧・中川村の工場の建物は、現在も残っています。）
当時の学校日誌からは、教員や児童生徒が講習を受け、松根
油の製造や松脂採取に携わった様子をうかがい知ることができ
ます。

昭和十九年十二月六日 水 曇

一、高等科二年生・青年学校生徒 松根掘ヲナス
（会田小学校の日誌より）

昭和二十年七月二十五日 火曜日 曇晴

一、初五・六児童二対シ 室谷指導員ヨリ松脂採集ノ講習ヲ
ナス
（五常小学校の日誌より）

松の根掘りから、松脂取り、工場までの運搬など、重労働の
割にわずかしか採油できず、数千機分の航空燃料をまかなうに
は気の遠くなるような計画。

結局、松根油は航空燃料としては質が悪く、実用化できない
まま終戦を迎え、同時に松の根掘り・松脂採取は取りやめとな
りました。

終戦3日後の、8月18日の五常小学校日誌には、

「松脂採集後ワレモコウ採集ノ予定ナリシモ 戦争終結セル
ヲ以テ中止」とあります。

[四賀村の歩み]

1955年4月1日 - 錦部村・中川村・五常村・会田村の4村が合併して発足。
2005年4月1日 - 松本市に編入。四賀村廃止。

※板碑…主に供養塔として使われる石碑の一種。

[関口秀徳さんの本が読める場所]

※一部、貸し出し有り

- 四賀公民館図書館
- 塩尻市立図書館
- 松本市中央図書館
- 信州大学附属図書館
- 松本市文書館
- 県立長野図書館
- 安曇野市中央図書館
- 国立国会図書館

参考資料

- 「中川村役場日誌」 「松根油のための松脂採取の痕跡調査
―松本市中川地区―」（※）
- 「会田学校日誌」
- 「中川学校日誌」 「松根と松脂 特攻機燃料のために」（※）
- 「錦部学校日誌」 （※）両瀬の郷土資料研究家・中原昌良さん
との共著
- 「五常学校日誌」

戦争体験を語ることでできる方が少なくなった今、残された
役場日誌は当時の村の様子を知ることが出来る貴重な資料です。
関口さんは、戦時中の役場日誌をワープロで打ち活字化、印
刷・製本をして出版する「翻刻」を自費で始めました。
膨大な資料を読み、解読が難しい文字はくずし字典で調べ、
どうしても不可能な場合は「□□」などで表しました。
さらに、「戦争当時の学校の様子や村の様子、更には世の中
の出来事を知ることができる」と、平成24年からは、旧・錦部
村、旧・中川村、旧・会田村、旧・五常村の各小学校の学校日
誌の翻刻も開始。
「地域のために何かしたい」という思いから始めた活動は、
20年にも及びます。

● 松根油のための松脂採取の痕跡

― 松の樹皮に刻まれた記憶 ―

戦局が悪化して航空機燃料が不足する中、代替品として考案
されたのが、松から採れる油から製造する「松根油」。
政府は「二百本の松の根で一機の航空機が一時間飛べる」の
スローガンを掲げ、特攻隊が活躍するための重要資材として、
新聞などで国民への協力を呼びかけました。
原料にするための松の根を掘り起こしたり、松の幹に切り込み

旧・中川村である中川地区に今も残る、V字型の傷跡のある
老松。

その幹に刻まれた松脂採取の傷が、戦争の愚かさを静かに
伝えているようです。

そう遠くない過去に、戦争へと進んでしまった日本。それは、
私たちの身近で確かに起こったこと。

関口さんは、戦時中の様子を次世代の人に伝えたいと願って
います。

当時の様子を知り、そこから何を感じ、学びとるのか。

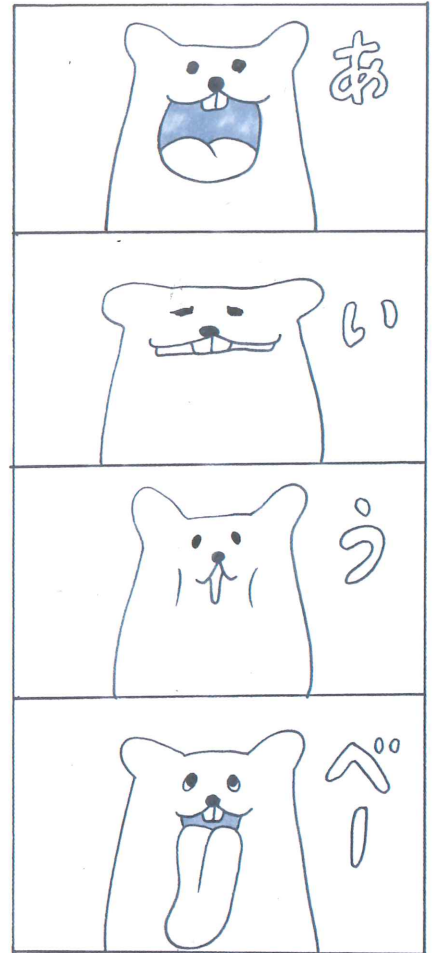
ひとりひとりの手に、未来が託されています。

（取材・編集・絵 相原愛）

『夢みる小学校』という映画をご存じでしょうか。もう観たという方もいらっしゃるかもしれませんがね。一昨年から映画館や自主上映会で全国に広まり、話題となっているドキュメンタリー映画です。僕も昨年、監督のトーク付き上映会があると聞いて観てきました。オオタヴィン監督が、先進的な取り組みで知られる3つの学校を訪れ、すてきな映像と音楽、優しいまなざしのナレーションで紹介する映画です。僕は、どの学校のことも本などで知っていたのですが、のびのびと成長する子どもたちの姿や学校に関わる方々の深い思いを目の当たりにして、温かい光に包まれたような感動で目に涙があふれました。

映画の中の学校は、通知票がなかったり、テストがなかったり、教科の枠がなかったり、教職員を「先生」と呼ばなかったりと、とても新しい教育なのに、なんだかとても懐かしい感じがするのです。なぜでしょう。僕が子どもの頃は、友達と自由に四賀の野山を探検し、神社で相撲をとり、人が集まれば缶けりをし、まさに新しい教育で求められている主体的で対話的で探究的な毎日だったのかもしれませんが。五常小学校の授業でよく覚えていることと言えば、川で魚をつかまえてきて教室で飼ったこと、山菜や蜂の子をとってきて調理して食べたこと、カマキリが空を飛ぶかどうかを熱く議論したこと（僕は飛ばないと言う間違っただ主張を必死でしたが、先生は答えを言いませんでした）、「五常子ども祭り」をゼロから立ち上げたことなど、どれもプロジェクト型の学びでした。周囲の大人も、学校の先生も笑顔が多く、今より余裕があったように思います。5、6年の時の担任の先生は、自分の活躍よりも子どもの自主性を大切にする人で、まったく宿題を出さませんでした。これには、賛否両論ありますが、担任の先生が宿題を出さなくても管理職や保護者から何も言われぬおらかな時代だったように思います。

今、学校は、これまでの伝統やルール、または受験のための学力が目的になってしまっていて、子どもたちも先生たちもがんじがらめで息苦しくなっているように思います。学校だって、新しいことをやってもいい、あたり前と思ってやってきたことをやめてもいい、失敗してもいい、わくわくするような夢をみてもいい。学校がそんな姿を見せてあげれば、子どもたちも自信をもって夢を語るようになるのではないのでしょうか。



残り3回、皆さまにお楽しみいただけるよう準備していきます。引き続き、ご意見ご感想をお待ちしています♡

編集後記

最近のはちみつ屋さん。夏はお蚕さまを育てます。
@ miru_no__

快医学健康相談
鍼灸
オステオパシー誇張法

はしもと治療室
HASHIMOTO CHIYOSHISU

0263-75-8608
松本市岡田町 793-3
https://hashimoto215.com/

noradoko
vegetables and books

のらどこ

無農薬野菜やこだわり調味料、料理本を車に乗せて移動販売しています
noradoko808@gmail.com
@ noradoko808

プライベートサロン
yonsee

080-4305-1183
松本市五常 6437
10:00~19:00 https://yonsee.info

「ご協賛いただきありがとうございます！」
ご協賛いただける企業・店舗・団体・個人様を随時募集しています！

古いもの引き取ります。
お気軽にご相談下さい。

古道具 燕
松本市会田本町1798
090-1722-8335 (北谷)
http://zubakuro.com

心身に響く
食べもの

よろづや
Ikkaku

よろづや 安曇野市穂高 5971-3
いっかく (穂高神社北側大鳥居下)
http://ikkaku-yorozu.com/

毎日の暮らしの「困った」を
「良かった」に変える

さいとう
けんちく

一級建築事務所

0263-64-2228
松本市中川 3242-1
https://www.saitoken.net/

「春の大結ぶ市」は
4月15日(土)に開催!

結ぶ市
MUSUBU-ICHI
https://musubu1.com/

毎週金曜・四賀支所にて開催中

ご相談ください/
太陽光発電施工
造作大工
電気工事
リフォーム工事

Routefinding

ルートファインディング
080-4422-2866
(遠藤真哉)

松本市岡田下岡田 453-1

もっと食べて暮らそう

信州・四賀
たべくら農園
tabekura.com

庭の仕事承り

0263-30-8416

庭師 鈴木
松本市会田3920
niwashi-suzuki.com

Graphic Works
Leather Works

ホームページお作りします。
靴もお作りします。

0263-88-7893
http://nieyol.com